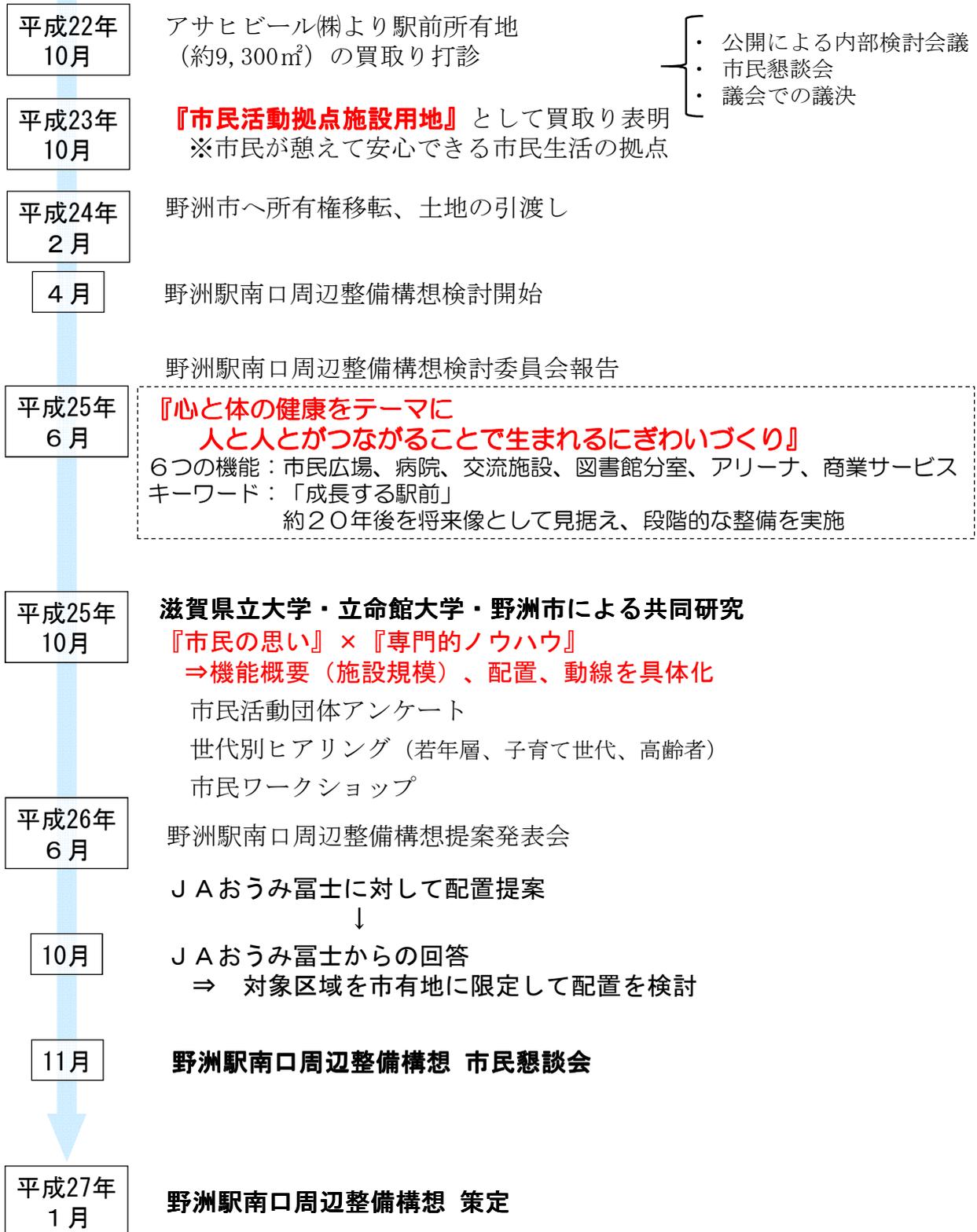


— 資料編 —

・野洲駅南口周辺整備構想策定までの主な検討経過……………	資－ 1
・野洲駅南口周辺整備構想検討委員会委員名簿……………	資－ 2
・機能配置の主な検討過程……………	資－ 3
・市民活動団体へのアンケート結果……………	資－ 6
・世代別ヒアリング結果……………	資－14
・市民ワークショップ結果……………	資－18
・提案発表会結果……………	資－27
・市民懇談会結果……………	資－29
・立体駐車場の収容台数の考え方……………	資－31

野洲駅南口周辺整備構想策定までの主な検討経過



野洲駅南口周辺整備構想検討委員会委員名簿

平成 24 年 7 月 27 日～平成 25 年 9 月 30 日

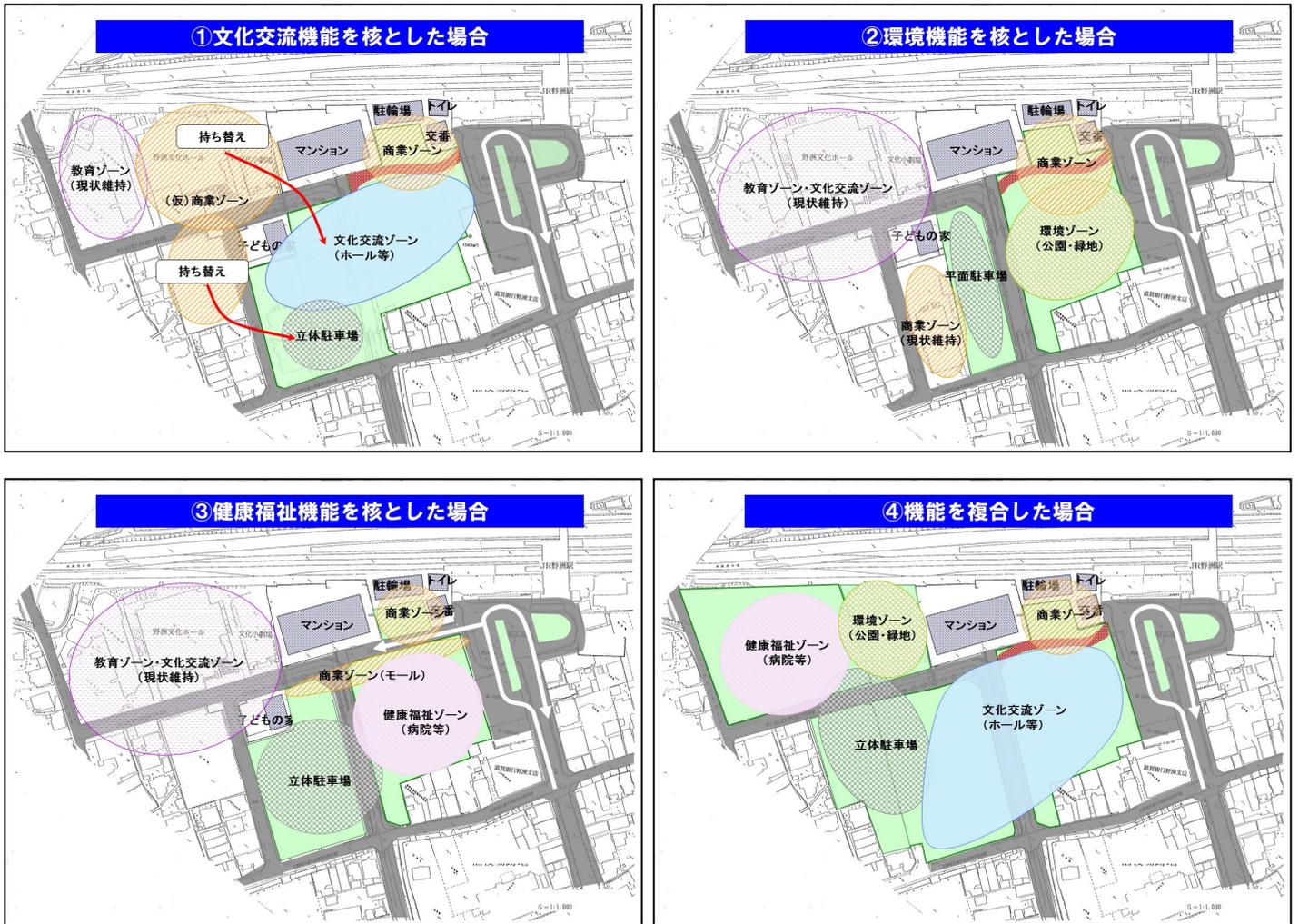
要綱分類	氏名	所属等
1 号委員（学識経験者）	及川 清昭	立命館大学理工学部 建築都市デザイン学科教授
	◎松岡 拓公雄	滋賀県立大学環境科学部 環境建築デザイン学科教授
2 号委員 （関係機関・団体を代表する者）	太田 正己	おうみ富士農業協同組合
	鍛冶 平太郎	野洲市自治連合会
	鈴木 あつ子	野洲市商工会
	立入 誠悟	野洲青年会議所
	○中田 幸子	野洲市ボランティア観光ガイド 協会
	間宮 美佐緒	野洲市 P T A 連絡協議会
	森野 百代	野洲市国際協会
	山本 真嗣	野洲工業会
3 号委員（行政機関）	小川 文章 （～平成 25 年 3 月 31 日） 丸山 徳義 （平成 25 年 4 月 1 日～）	国土交通省 近畿地方整備局 建政部 都市調整官
	谷村 定義 （～平成 25 年 3 月 31 日） 四塚 善弘 （平成 25 年 4 月 1 日～）	滋賀県 土木交通部 交通政策課 課長
	橋 俊明 （～平成 25 年 3 月 31 日） 山本 利夫 （平成 25 年 4 月 1 日～）	野洲市 都市建設部 部長
4 号委員（公募委員）	兒玉 志織	
	西村 昇	
	前田 基良	
5 号委員（市長が認める者）	樋口 俊助	滋賀県バス協会 専務理事
	平野 剛	J R 西日本 近畿統括本部 京都支社 地域共生室長

◎委員長 ○副委員長 <敬称略 50 音順>

機能配置の主な検討過程

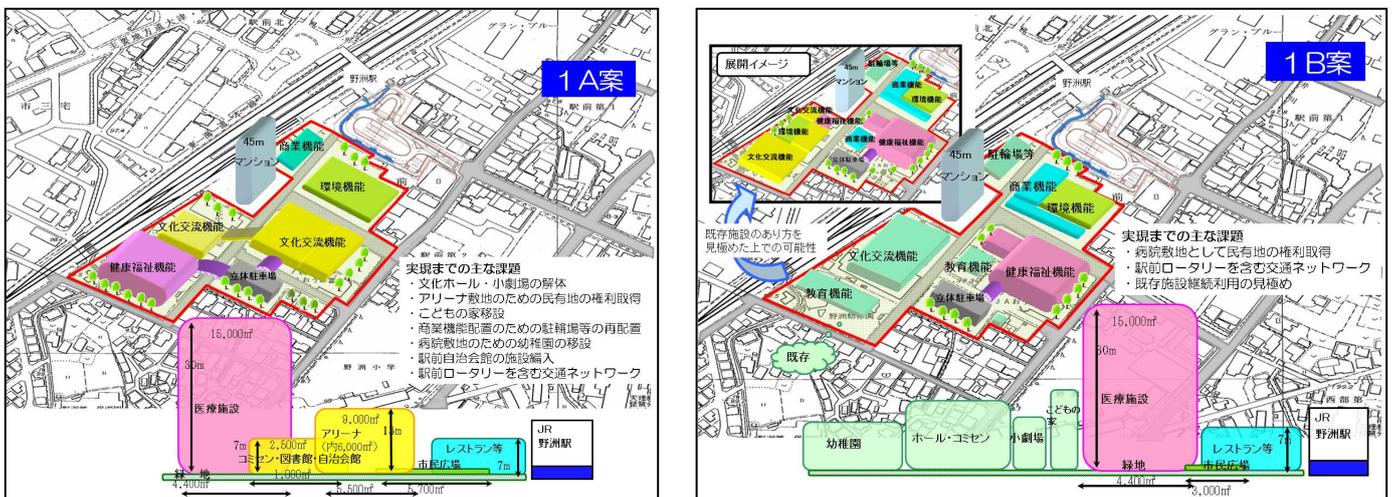
①ゾーニングイメージの検討

(平成 24 年 9 月 10 日開催 第 2 回野洲駅南口周辺整備構想検討委員会)



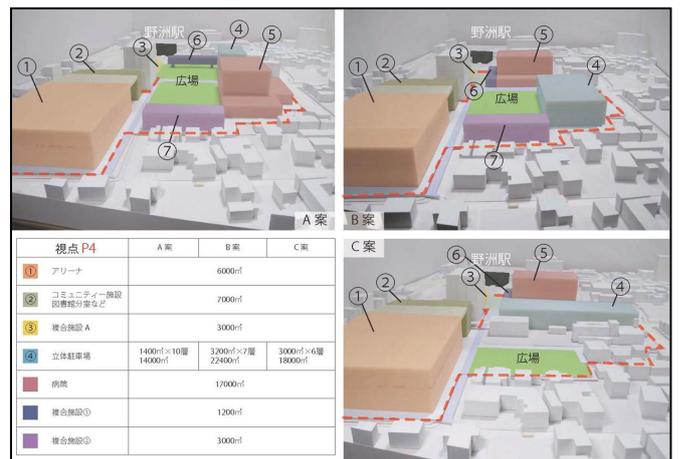
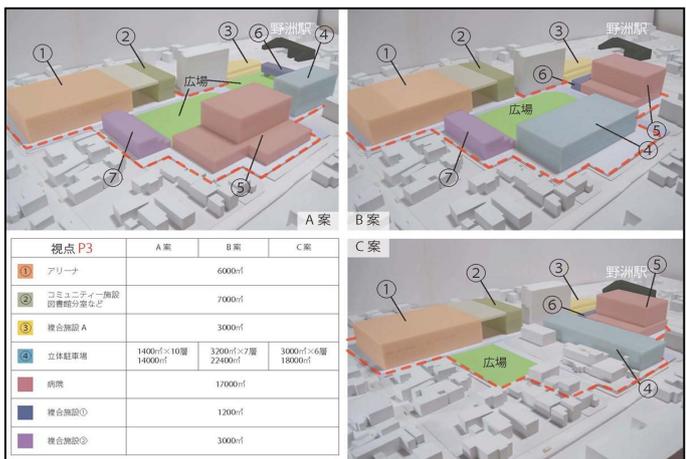
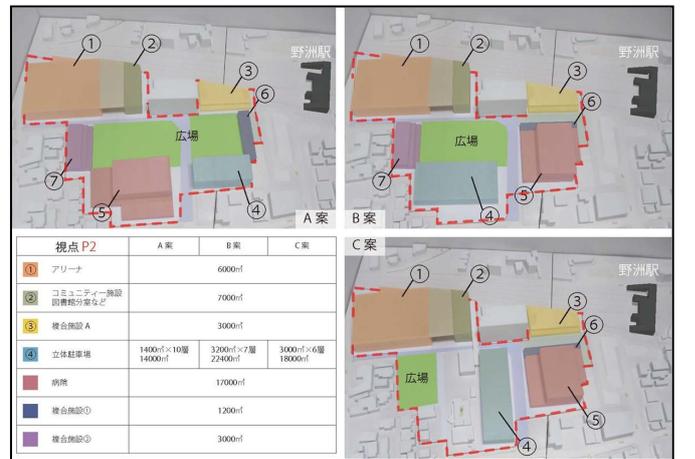
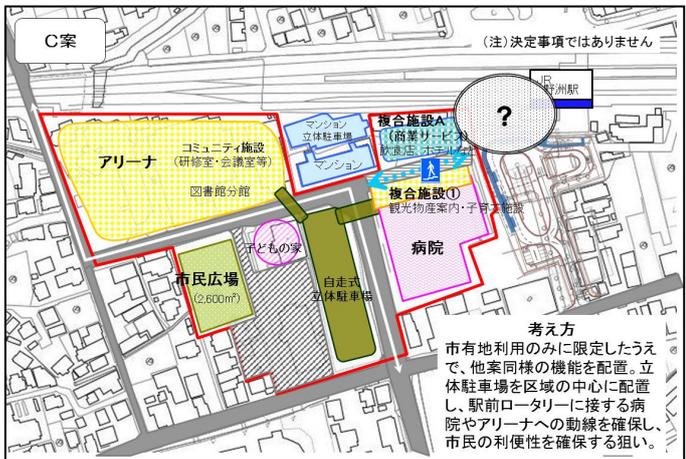
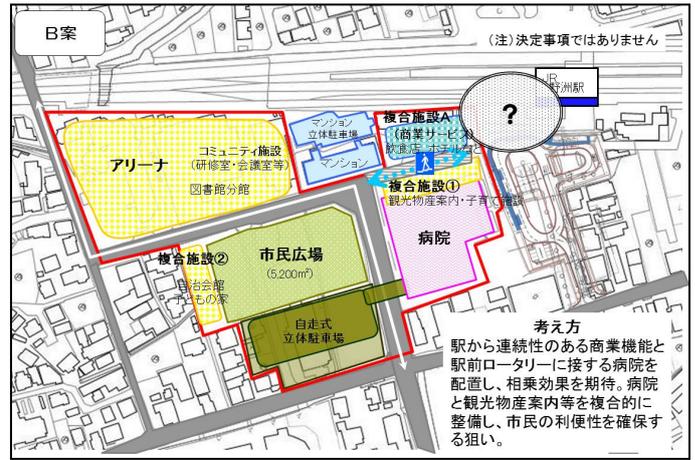
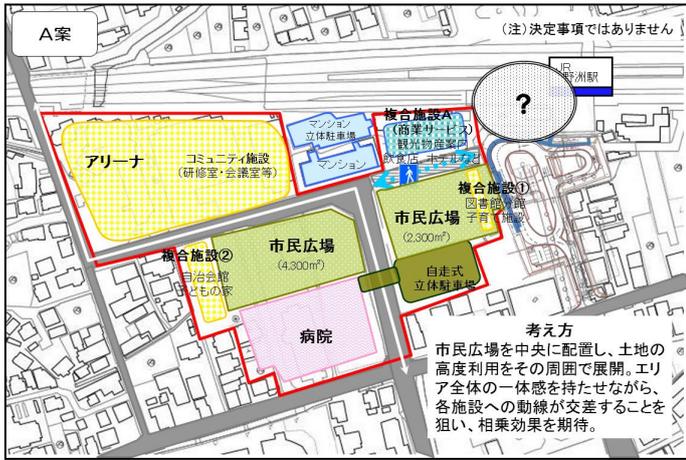
②ゾーニングの検討 ver. 1

(平成 24 年 12 月 26 日開催 第 3 回野洲駅南口周辺整備構想検討委員会)



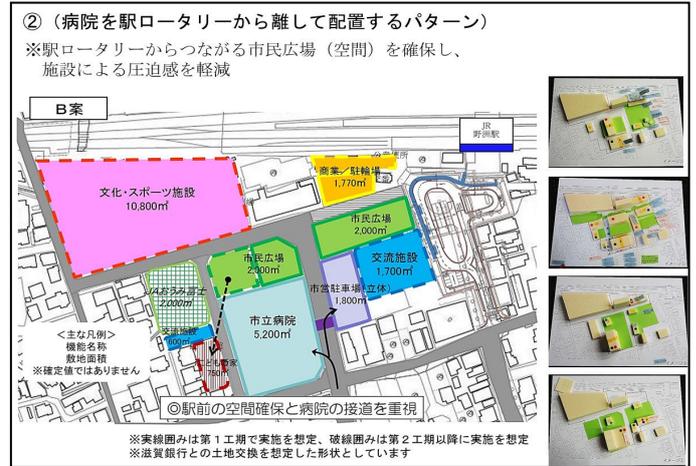
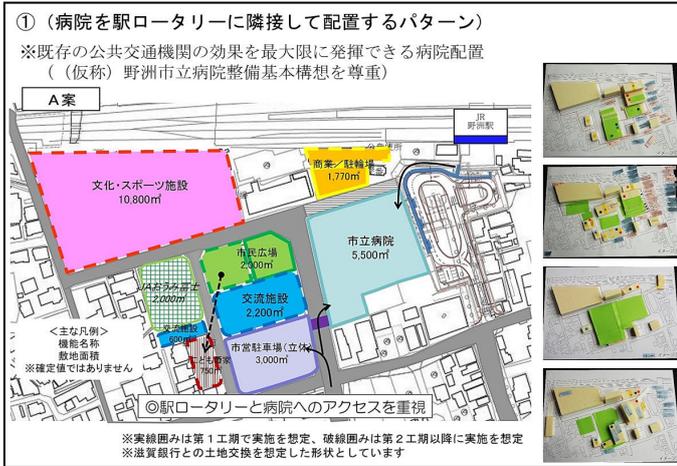
③ゾーニングの検討 ver. 2

(平成 25 年 4 月 3 日開催 第 5 回野洲駅南口周辺整備構想検討委員会)

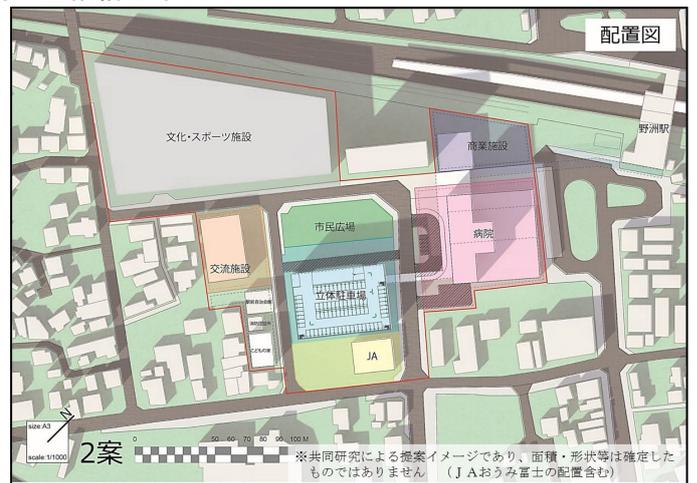
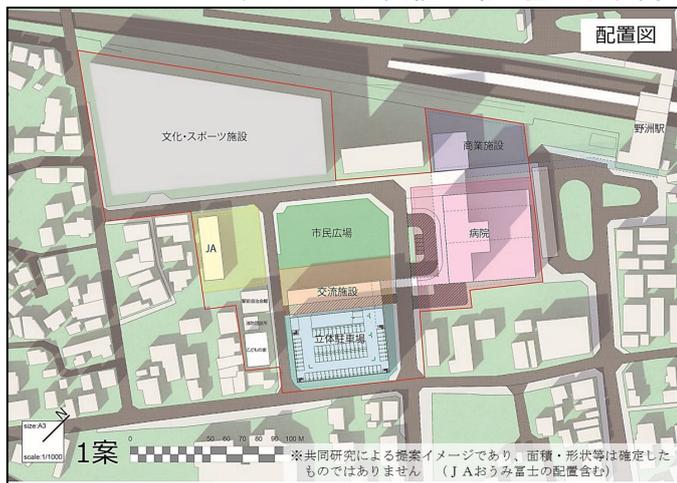


④施設配置の検討

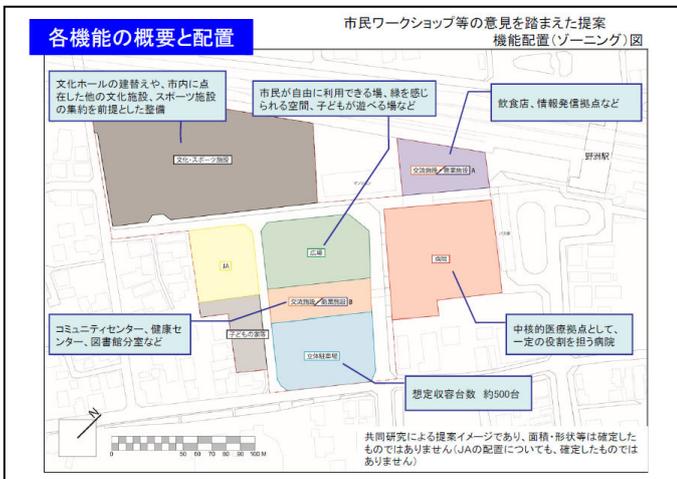
(平成 26 年 2 月 23 日開催 第 2 回やす駅南口周辺整備構想市民ワークショップ)



(平成 26 年 4 月 27 日開催 第 3 回やす駅南口周辺整備構想市民ワークショップ)



(平成 26 年 6 月 21 日開催 野洲駅南口周辺整備構想提案発表会)



市民活動団体へのアンケート結果

野洲駅南口周辺整備構想に関する 市民活動団体へのアンケート結果

平成25年11月

野洲市

1. アンケート調査の概要

野洲駅南口周辺整備構想検討委員会からの検討報告を土台とし、市民の皆さんが主体的に創り込んでいく整備を進めるため、市民の思いと専門家のノウハウを融合させた提案を検討するため、「滋賀県立大学」、「立命館大学」、「野洲市」の三者による共同研究を行います。

ついでには、駅前のポテンシャルを最大限活かせる提案づくりの参考とするために、野洲市に登録されている市民活動団体を対象に調査を実施しました。

2. 実施時期

平成25年8月22日～9月27日

3. 対象者

野洲市に登録をしている市民活動団体

4. 回収結果

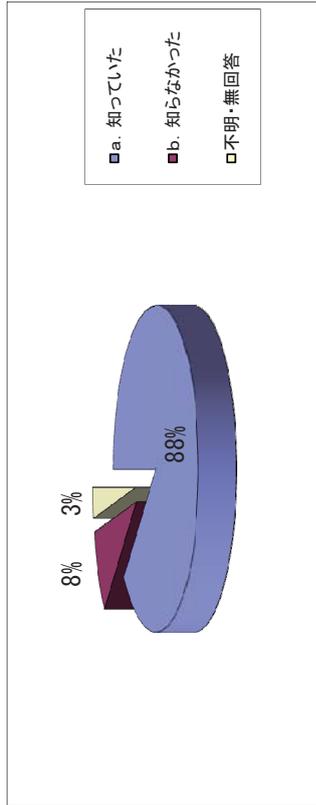
配布数	290
回答数	165
回収率	56.9%

5. 結果の見方

- ・回答結果は、回答件数とそれぞれの回答の占める割合を示しています。
- ・複数の回答がある場合は、選択肢ごとの回答件数に対して、それぞれの回答を占める割合を示しています。
- ・「不明・無回答」は、回答が示されていない、または、回答の判別が困難なものです。
- ・割合については、小数第1位を四捨五入し整数で表しています。そのため、合計値が100にならない場合があります。

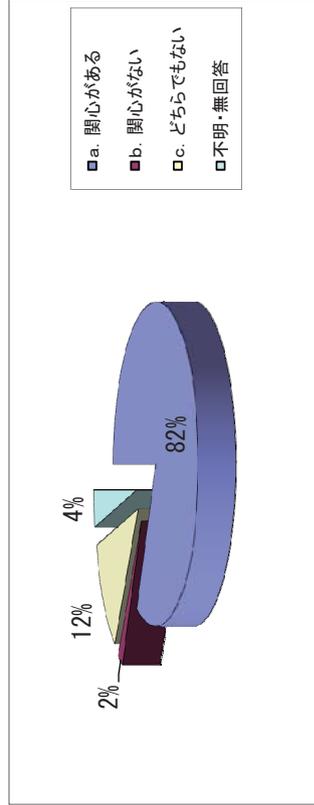
① 野洲市が野洲駅南口周辺整備構想の検討をしていることをご存知でしたか。(単数回答)

	件数	割合
a. 知っていた	146	88%
b. 知らなかった	14	8%
不明・無回答	5	3%
計	165	100%



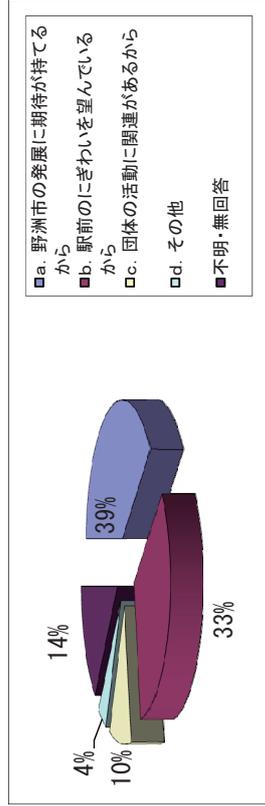
② 野洲駅南口周辺整備構想の検討について関心がありますか。(単数回答)

	件数	割合
a. 関心がある	136	82%
b. 関心がない	3	2%
c. どちらでもない	20	12%
不明・無回答	6	4%
計	165	100%



③ (上記で「a. 関心がある」とお答えされた方にお尋ねします) 関心がある理由をお尋ねします。(複数回答)

	件数	割合
a. 野洲市の発展に期待が持てるから	92	39%
b. 駅前のにぎわいを望んでいるから	78	33%
c. 団体の活動に関連があるから	23	10%
d. その他	9	4%
不明・無回答	34	14%
計	236	100%

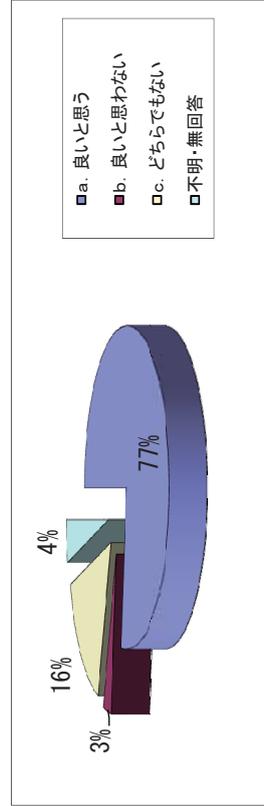


<主なその他欄記載内容>

- ・便利で調和のとれた駅前整備
- ・他駅の様な失敗をしないようにしてほしいから
- ・野洲市の財政事情が心配だから

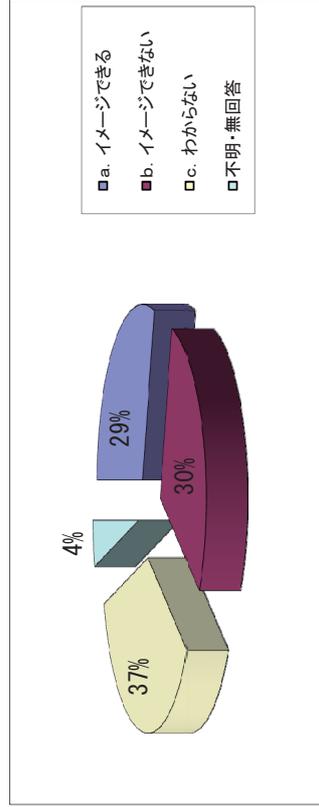
④ 野洲駅南口周辺整備を進める「心と体の健康をテーマに人と人となりがつながること生まれるにぎわいづくり」について、どのように考えられますか。(単数回答)

	件数	割合
a. 良いと思う	127	77%
b. 良いと思わない	5	3%
c. どちらでもない	26	16%
不明・無回答	7	4%
計	165	100%



⑤ 野洲駅南口周辺整備が進める「心と体の健康をテーマに人と人とがつながることで生まれるにぎわいづくり」について、あなたの団体の活動との関わりをイメージできますか。(単数回答)

	件数	割合
a. イメージできる	48	29%
b. イメージできない	49	30%
c. わからない	61	37%
不明・無回答	7	4%
計	165	100%



⑥ (上記で「a. イメージできる」とお答えされた方にお尋ねします) 具体的にどのようなイメージを持たれましたか。(自由記述)

<主な記述内容>

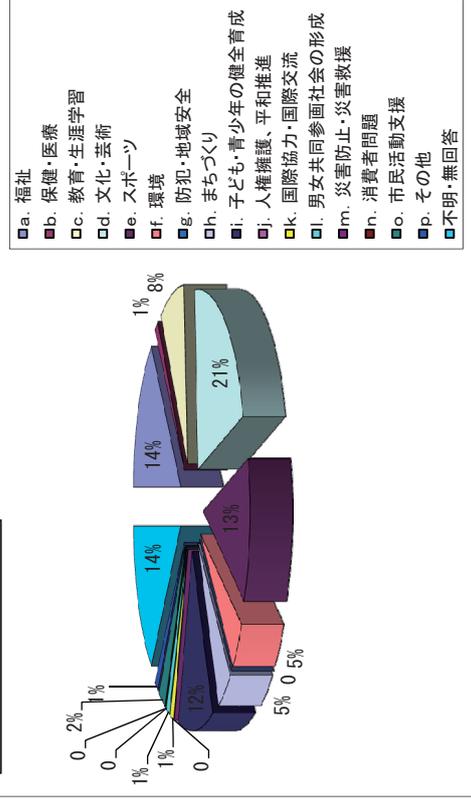
- ・出会いと話し合いのできる場、子どもたちの出会いの場作り
- ・教育、福祉の分野での情報収集のしやすさ、他団体との連携強化
- ・人が集まるための仕掛けづくり
- ・病気の予防へもつながる病院建設
- ・音楽を通して触れ合い、心身共に健康になっただけでなく、人々の心が和む樹木、草花等自然豊かな風景がある
- ・単純に御路樹を植えただけでなく、人々の心が和む樹木、草花等自然豊かな風景がある憩いの広場
- ・障がい者や高齢者が一般市民と楽しく交流
- ・多目的に利用できるアリーナにおけるスポーツ活動等を通じた地域コミュニティの醸成
- ・子育て支援広場や高齢者対応施設等
- ・市民が集い活動の拠点となるような施設の充実
- ・福祉、医療、人付き合い等の問題解決にむけての「相談窓口」や、「心と身体のリハビリテーション施設」、「市民の憩いの場(ほっとステーション)」等の機能
- ・作品展、教室やイベント開催による地域の方との交流
- ・人々が集うことのできるスペースとしての新しい考え方の図書館スペース

⑦ あなたの団体の活動分野についてお尋ねします。(複数回答)

※該当するものすべて○を、特に力を入れている分野に◎をしてください。

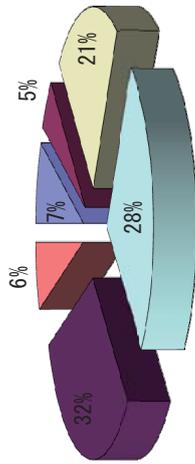
	◎件数	割合	○件数	割合
a. 福祉	12	14%	41	14%
b. 保健・医療	1	1%	15	5%
c. 教育・生涯学習	7	8%	57	19%
d. 文化・芸術	18	21%	34	11%
e. スポーツ	11	13%	19	6%
f. 環境	4	5%	20	7%
g. 防犯・地域安全	-	-	5	2%
h. まちづくり	4	5%	17	6%
i. 子ども・青少年の健全育成	10	12%	29	10%
j. 人権擁護、平和推進	-	-	12	4%
k. 国際協力・国際交流	1	1%	5	2%
l. 男女共同参画社会の形成	1	1%	9	3%
m. 災害防止・災害救援	-	-	3	1%
n. 消費者問題	-	-	5	2%
o. 市民活動支援	2	2%	19	6%
p. その他	1	1%	7	2%
不明・無回答	12	14%	-	-
計	84	100%	297	100%

特に力を入れている分野



⑧ 活動年数をお尋ねします。(単数回答)

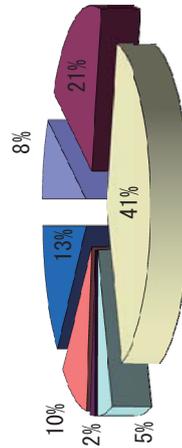
件数	割合
12	7%
8	5%
35	21%
47	28%
53	32%
10	6%
165	100%



■ a. 3年未満
 ■ b. 3年以上5年未満
 ■ c. 5年以上10年未満
 ■ d. 10年以上20年未満
 ■ e. 20年以上
 ■ 不明・無回答

⑨ 活動頻度をお尋ねします。(単数回答)

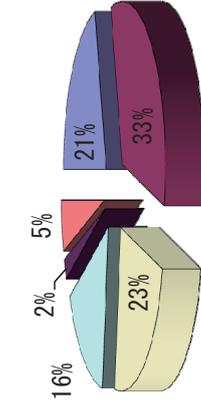
件数	割合
13	8%
34	21%
68	41%
9	5%
3	2%
16	10%
22	13%
165	100%



■ a. 毎日
 ■ b. 週に2~3回程度
 ■ c. 1ヶ月に2~3回程度
 ■ d. 2~3ヶ月に1回程度
 ■ e. 年に1~2回程度
 ■ f. 不定期
 ■ 不明・無回答

⑩ 主な活動曜日についてお尋ねします。(複数回答)

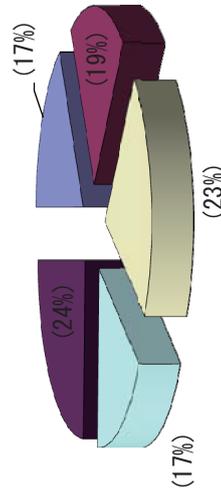
件数	割合
41	21%
66	33%
46	23%
31	16%
4	2%
10	5%
198	100%



■ a. 曜日を問わない
 ■ b. 曜日を特定(月・火・水・木・金)
 ■ c. 土曜日
 ■ d. 日曜日
 ■ e. 祝日
 ■ 不明・無回答

b. 曜日を特定(月、火、水、木、金)の内訳

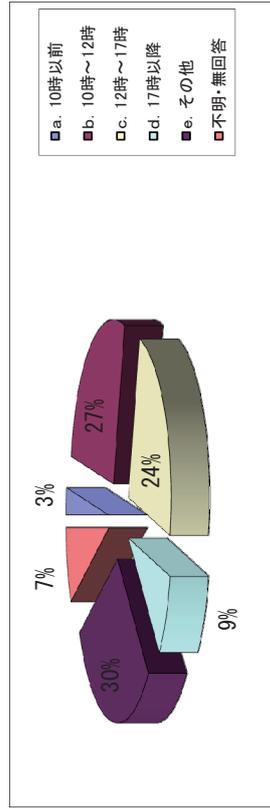
曜日	件数	割合
月	(15)	(17%)
火	(17)	(19%)
水	(21)	(23%)
木	(15)	(17%)
金	(22)	(24%)
計	(90)	(100%)



■ 月
 ■ 火
 ■ 水
 ■ 木
 ■ 金

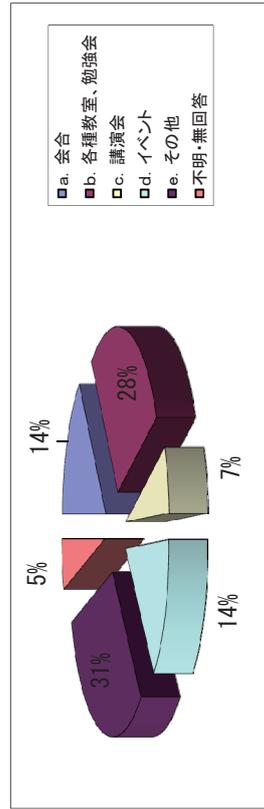
⑪ 主な活動時間帯についてお尋ねします。(複数回答)

件数	割合
5	3%
50	27%
46	24%
16	9%
57	30%
14	7%
188	100%



⑫ 主な活動内容についてお尋ねします。(複数回答)

件数	割合
35	14%
68	28%
16	7%
35	14%
76	31%
12	5%
242	100%

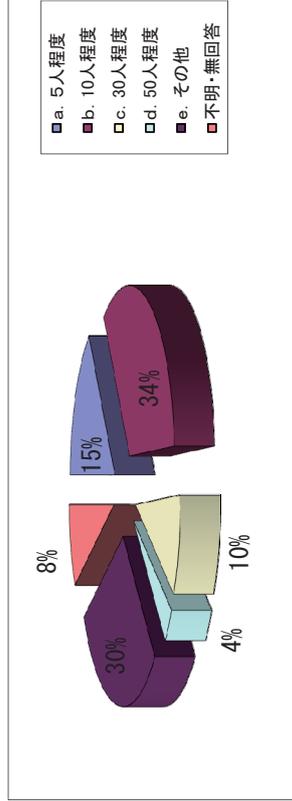


<主なその他欄記載内容>

- ・道路清掃活動、エコ活動
- ・小学校への総合学習指導
- ・不法自転車の撤去警告
- ・環境にやさしい地産地消
- ・オーガニック育児、こども農園
- ・姉妹都市交流

⑬ 1回の活動に関わる人数についてお尋ねします。(単数回答)

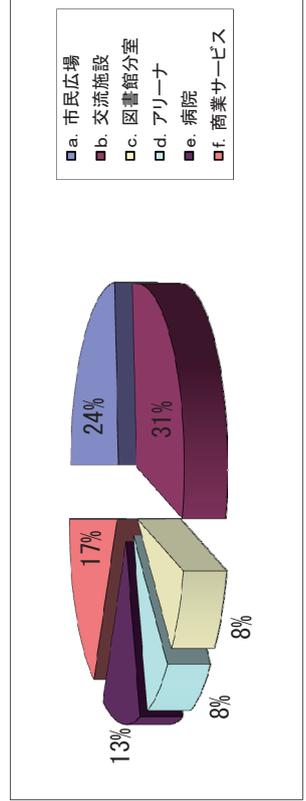
件数	割合
25	15%
56	34%
16	10%
6	4%
49	30%
13	8%
165	100%



⑭ 野洲駅南口周辺で活動を行うときに、野洲駅南口周辺整備構想検討委員会から提案された6つの機能のうち、特に必要と思われる機能についてお尋ねします。(単数回答)

※ひとつに○をつけて、その理由を書いてください。

件数	割合
39	24%
51	31%
13	8%
13	8%
21	13%
28	17%
165	100%

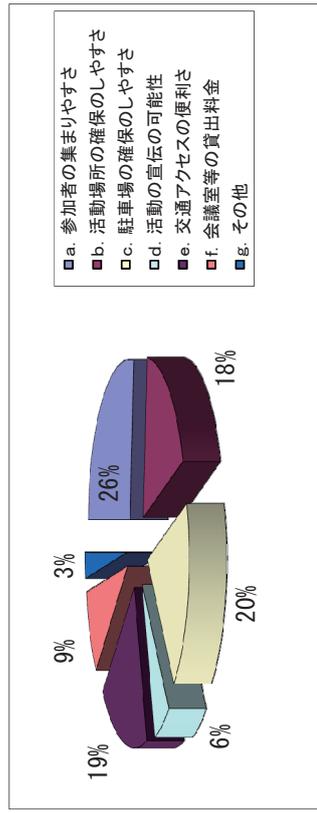


<主な理由>

- a. 市民広場
 - ・気軽に利用でき、人が集まる仕掛けづくりがしやすい
 - ・子どもから高齢者まで、だれもが気軽に安心して過ごすことができ、周辺に飲食店等の出店が期待できる
 - ・緑豊かな景観、水の流れもあるような大きな広場とすれば、人々に安らぎを与える
 - ・人と人との出会いを大切にできる大事な場所
- b. 交流施設
 - ・賑わいと情報交換が期待でき、駅前で便利である
 - ・色々な地域から集まりやすく、利用者の増加が期待できる
 - ・交通アクセスの便利な場所は人が集まりやすく活動もしやすい
 - ・街の玄関で人々の交流できる場は街の活性化につながる
- c. 図書館分室
 - ・子どもたちが自分たちで行けるから
 - ・知的情報を得る場の図書館は駅前につけていただと考える
 - ・心の健康に読書はもってこいである
- d. アリーナ
 - ・多くの人が集まれて、様々な大会やイベントを開催する事ができ、駅に近いことで市外からの参加も得られやすい
 - ・文化やスポーツ活動を通して市民交流ができる
 - ・収益をあげることが期待できる
- e. 病院
 - ・高齢化社会では交通の利便性の高さを求められ、駅前にあると便利
 - ・病院を核として駅周辺のにぎわいが生まれる
 - ・市民が健康であればこそ、あらゆる活動に参加し、安心な体力、気力で自立心がわく
 - ・駅前に病院ができれば市民が安心し、いい先生もきてくれる
- f. 商業サービス
 - ・元気で発展性をアピールするため
 - ・駅前に飲食関係のお店が少ないので（立体駐車場も必要だと思います）
 - ・まちの活性化には、外部からのお客様に来ていただくのが一番

⑮ 野洲駅南口周辺で活動を行うときに重視する項目についてお尋ねします。（複数回答）

項目	件数	割合
a. 参加者の集まりやすさ	91	26%
b. 活動場所の確保のしやすさ	62	18%
c. 駐車場の確保のしやすさ	68	20%
d. 活動の宣伝の可能性	21	6%
e. 交通アクセスの利便性	64	19%
f. 会議室等の貸出料金	30	9%
g. その他	9	3%
計	345	100%



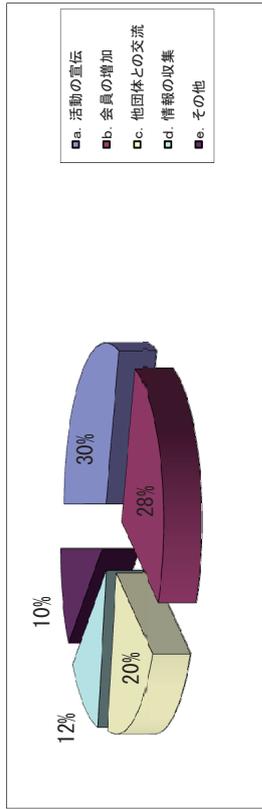
<主なその他欄記載内容>

- ・広場に市民が集う環境づくりを
- ・都市の浪費をなくしてほしい
- ・治安
- ・駅周辺での活動の予定は考えていない

⑯ 野洲駅南口周辺で活動した場合に期待することについてお尋ねします。(複数回答)

件数	割合
54	30%
51	28%
36	20%
21	12%
18	10%
180	100%

- a. 活動の宣伝
- b. 会員の増加
- c. 他団体との交流
- d. 情報の収集
- e. その他



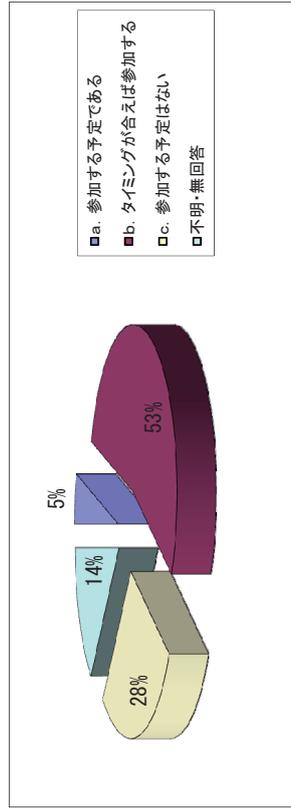
<主なその他欄記載内容>

- ・講演会、研究会の参加者が増えることや、他組織との協体制度の構築
- ・使いやすいさや、人の集まり易さ
- ・市内のみならず広く県内外の交流の拠点となり、市のイメージアップになる

⑰ 今後、開催の予定をしている市民ワークショップへの参加意向についてお尋ねします。(単数回答) ※開催日時等、現在調整中です

件数	割合
8	5%
88	53%
46	28%
23	14%
165	100%

- a. 参加する予定である
- b. タイミングが合えば参加する
- c. 参加する予定はない
- 不明・無回答



⑱ 野洲駅南口周辺整備構想に関してご意見等がありましてらご自由にお書きください。(自由記述)

<主な記述内容>

- ・人の交流(市内、観光客等)、憩いの出来る店、場所の提供が欲しい
- ・限られた土地を如何に利用価値が出る様に構想して貰いたい
- ・インフラ整備が第一で、台風等で駅前機能がマヒすることの解消が大事。安心安全なまちづくり優先すすべし
- ・たぐさんの市民の声を聞いて、子や孫の世代まで考えた整備計画を立てていただきたい
- ・屋外に緑のある”こころのふれあい対面広場”に、屋根のみ有する舞台、壊れないベンチ(石等)を配置し、イベントの開催
- ・エリア内は、自動車厳禁とし、日差しの強い日でも散策できる通路とし、動物厳禁、ゴミ箱は、設置しない
- ・限られた土地、環境の中ではありますが目先の小さなハコモノでなく将来を見据えて、市が内外に誇れるように必要とする施設を時間をかけてその構想を練って欲しい
- ・病院は必要ないので商業施設等を誘致しにぎわいのあるまちづくりをしてほしい
- ・皆が、集まりやすい施設、使いやすい施設を要望致します
- ・とにかく早く整備していただきたい
- ・病院建設を望んでいる
- ・人が集まり賑わいの有る状態を望むなら、市外からも集客できる大型商業施設のような施設が必要だと思います
- ・駅周辺の整備は人口の増加を踏まえた住居ゾーンで税収を見込んだ計画を希望します
- ・緊急の時など、良くわかる様に文字(電光掲示板など)や、見て解る、情報発信をして欲しい
- ・建物・設備だけを作るのではなく心がこもった継続性のある施設にと望みます
- ・地産品による、ご当地グルメの創出と観光施設のPR
- ・次世代に負担をかけない様に、事業の収益予想が甘く、赤字にならないようにお願いします
- ・樹木があり、一寸一般感のベンチが多い方が良いと思う。人の集まりで周辺の店や、それぞれの施設に気軽に参加できそう。楽しみ(遠方に行かなくても家族で!)の場がほしい
- ・駅前のアクセスをきちんとして、駅前で公共、ショップピング、会合、イベント、医療等があれば高齢者、子育て中の家庭にも良い場所になると思います
- ・人口が入りやすく、わかりやすい所にしてほしい
- ・行政のからんだハードの施設の維持管理(予算・従事者等)・運営(各種企画の立案実施含む)に行き詰って魅力が減退しているケースが多く見られる。10年~30年の長期に渡り当市発展に貢献できる方策を編み出す必要を感じる
- ・高齢化社会を見据えた、施設や設備をつくって頂きたい

世代別ヒアリング結果

野洲中学校ヒアリング

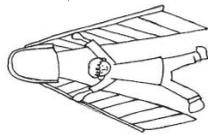
2013.10.17 (木) 16:00～17:00

参加者：野洲中学校生徒会 5名 立命館大学 4名 滋賀県立大 2名 野洲市役所 2名

目的：現在検討している野洲駅南口周辺整備構想を策定するに当たって、若年層である中学生が、現在の駅前への考えやどんな駅前を望んでいるのかを聞き取るために実施。

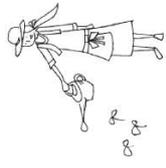
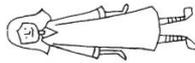
Q. 野洲のイメージは？

A. どこをみても自然が多い。大都会でもなく田舎でもない雰囲気がある。田んぼがあって住宅街もある。極端すぎないところが良い。高い建物が多くないため景色はよい。
野洲が好き！



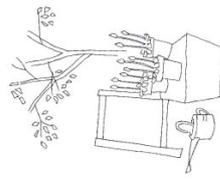
Q. 広場について

A. 待ち合わせできる、シンボルになるものがほしい。無料で気兼ねなくお祭りができるような広場がほしい。緑が感じられるような広場がほしい。子供にとっても安全な公園がほしい。ランニングコースがほしい。三上山は今まで通り見えてほしい。高い建物に囲まれないと嬉しい。



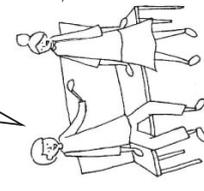
Q. 文化ホールについて

A. 用事がないと入りにくい。活動の様子が見えたら入りやすくていい。もう少し開放的な公共施設がほしい。



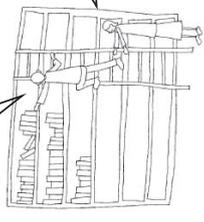
Q. アリーナについて

A. 総合体育館が遠いため、スポーツが身近にできる場所があるといい。体育館ほど広くなくていいが、気軽に室内でスポーツができるとうれしい。



Q. 図書館について

A. 電車を待っている時間で読書できるように駅に近いところにほしい。図書館の分室に学習スペースがほしい。

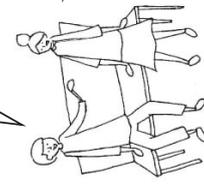


Q. 商業について

A. 本、文房具、CD、DVDがほしい。帰りにお茶飲んだりできる場所がほしい。野洲のにぎやが過ぎず、田舎過ぎない雰囲気になったおしゃれなお店がほしい。

Q. 駅について

A. 歩道と休むスペースが一緒にあって危ない。部活の集合場所になっているが狭い。ちゃんとした広い集合場所がほしい。夜遅くに帰るとき暗くて危ないので、もう少し街灯がほしい。



中主中学校ヒアリング

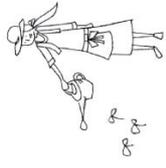
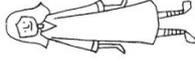
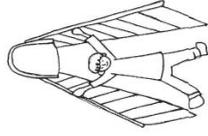
2013.10.23 (水) 16:00～17:30

参加者：中主中学校生徒会 10名 立命館大学 4名 滋賀県立大 5名 野洲市役所 2名

目的：現在検討している野洲駅南口周辺整備構想を策定するに当たって、若年層である中学生が、現在の駅前への考えやどんな駅前を望んでいるのかを聞き取るために実施。

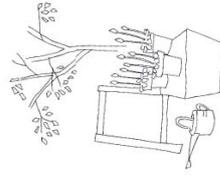
Q. 現在の野洲駅の利用は？

A. ほとんど北口の利用。バスは本数が少ないので駅までの移動手段は車か自転車。待ち合わせや時間をつぶす場所がない。天候によっては屋外で待っているのが大変。



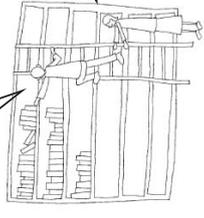
Q. 市内で利用する施設は？

A. 学校内での行事が多くあくま利用施設が少ない。合唱コンクールは大きなホールを利用するが観客が多いと狭い。コミュニティセンターのフリースペースで自習をする。



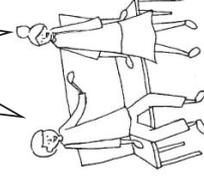
Q. 市内に欲しいモノは？

A. イオンモール/スケート場/大きな本屋さん/映画館/レンタルショップ/スポーツ用品店/競技場/スポーツ用品店/芝生の公園・小さい子供のための遊具がある公園・緑あふれる公園



Q. 野洲らしさって？

A. 自然が多いところ。田んぼがあることが好き。建物が高くない。駅前開発は賛成。琵琶湖と比良山系。



Q. 駅前に欲しいモノは？

A. 高校生活を想定すると、軽く立ち寄れる、雨でもしのげる場所が欲しい。マグナロードが欲しい。気軽に参加できる祭りをしたい。イベントができる広場が欲しい。部活動の活躍を展示する。披露するスペースがあると嬉しい。気軽に運動できる広場が欲しい。総合体育館は駅から遠いので、市外から来る人には駅前が便利で良い。市内には病院があっても欲しいし、場所は駅前が便利で良いと思う。



野洲北中学校ヒアリング

2013.11.07 (木) 16:15 ~ 17:15

参加者：野洲北中学校生徒会 13名 滋賀県立大 4名 立命館大学 2名 野洲市役所 2名

目的：現在検討している野洲駅南口周辺整備構想を策定するに当たって、若年層である中学生が、現在の駅前への考えやどんな駅前を望んでいるのかを聞き取っているのを聞き取るために実施。

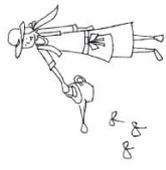
Q. 現在の野洲駅の利用は？

南口に対する印象は？

A. 野洲駅の利用頻度は少なく、利用は主に駅北口。ついでに立ち寄る店が少ない。薄暗い印象。夜間の駅周辺は暗く朝夜の雰囲気が大きく異なる。

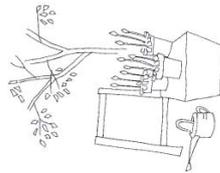
Q. 野洲駅前に欲しいモノは？

A. 温泉（足湯）/スポーツができる芝生の公園・小さい子供のための遊具がある公園・緑あふれる公園/大型書店・レンタルショップ/スポーツができる体育館/子供だけでも入ることができるような飲食店（駅前は居酒屋が多い）/商店街・日常の買い物ができるような店/景観が明るく良くなるような種菜/文具店（書店併設）/イベントスペース/楽器店/情報発信の場/知名度が上がるようなシンボリックなもの



Q. 野洲らしさって？明るい町のイメージは？

A. ビルが多すぎると野洲っぽくない。緑がある。高層マンションは必要ない。建物の壁の色が明るく、街灯の色は暖色系が良い。



Q. どんな駅前なら行きたい？

A. 明るい駅前のイメージ作り → 高層ビルは必要ないが、活気ある建築計画
駅市などの地産地消のシステム作り

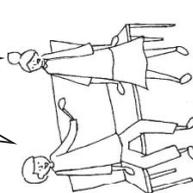
Q. 野洲をより良くするには？

A. 駅舎自体を建て替えて、光を多く取り込む明るい駅舎にする。博物館分室を設ける。駅前の印象はまちの印象に直結するので、圧迫感のある高層ビル群ではなく、緑地のある明るい駅前にする。



Q. 市内で利用する施設は？

A. 野洲総合体育館（ジム・プールを含む）
駅前の温泉施設（営業当時）
日常の買い物は平和堂（市外ではアウトレット・イオンモール）



子育て支援センターヒアリング

2013.11.14 (木) 20 (水) 10:00 ~ 11:30

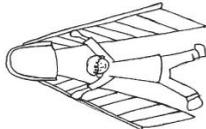
参加者：子育て支援センター利用者 11名 滋賀県立大 2名

立命館大学 2名 野洲市役所 1名

目的：現在検討している野洲駅南口周辺整備構想を策定するに当たって、子育て世代が、現在の駅前への考えやどんな駅前を望んでいるのかを聞き取るために実施。

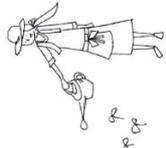
Q. 野洲のイメージは

A. 住みやすい
子育てしやすい
整備計画によつて人や車が多くなるのは嫌
のどかなイメージを壊したくない
給食や保育制度が充実しており、子育てしやすい街
中主周りは集落内の歩道が整備されていない



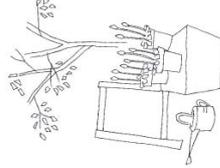
Q. 駅前に欲しいものは？

A. 守山にあるような大きな公園
自分たちが楽しめる飲食店
屋内も屋外も幼児から児童まで遊べるような施設
立体駐車場はあまり利用したことのないので、狭い印象がある
遊具やボールで遊ばせたり、お弁当を食べたりできる場所
地産地消の物産所、日用品店



Q. 野洲らしさって？明るい町のイメージは？

A. ビルが多すぎると野洲っぽくない。緑がある。高層マンションは必要ない。建物の壁の色が明るく、街灯の色は暖色系が良い。



Q. 普段利用する市内の施設は？

A. 子育て支援センター
図書館（子供のための本が中心）

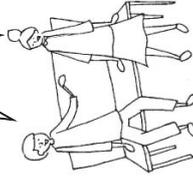
Q. お子さんと出かけるときに駅前であればいいものは？

A. 子供連れのお母さん友達でご飯を食べられるところが欲しい
子供が騒いだりしても安心できる場所



Q. 野洲駅、南口の利用状況は？

A. 駅は特に利用しない
現在は素通りするだけで特に印象はない
買い物に少し行く程度



野洲市老人クラブ連合会ヒアリング

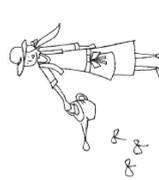
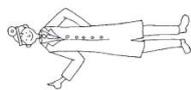
2013.11.21 (木) 15:00～16:00

参加者：野洲市老人クラブ連合会役員会 23名 滋賀県立大 2名 立命館大学 2名 野洲市役所 2名
 目的：現在検討している野洲駅南口周辺整備構想を策定するに当たって、高齢者が現在の駅前への考えやどんな駅前を望んでいるのかを聞き取るために実施。

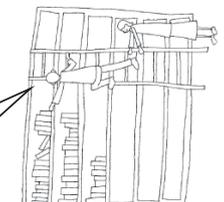
Q. 現在の野洲駅に対する印象は？
 A. 仮設ロータリーは駅から速く送迎が大変待ち合わせがしにくいあまり行く機会がない駅前ロータリーの改修で菓子屋さんに行きにくくなった



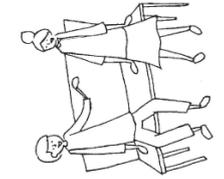
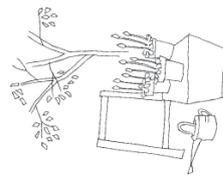
Q. 病院については？
 A. 駅前の病院は便利で良い病院は郊外の静かなところにあるべき駅前の通勤通学による混雑と重なる現在の道路整備状況等では緊急車両への対応に不安がある医療スタッフの対応が大事



Q. 野洲駅前に欲しいモノは？
 A. 気軽に利用できるスポーツクラブ
 高齢者が元気にいざいざと過ごすための憩いの施設
 駐車場
 商業施設や娯楽施設



Q. まちづくりについででの考えは？
 A. 野洲市は公共施設が点在しており使いにくい
 →不便宜の共有
 駅前にいけば、日常生活が満たされるような整備をしてほしい
 スマートシティとしての整備が良い
 長期的な視点での計画性が感じられない
 バイパスなどの道路整備を優先することで野洲市は発展できる



市民ワークショップ結果

第1回やす駅南口周辺整備構想 市民ワークショップニュース



第1回やす駅南口周辺整備構想市民ワークショップ

日時：11月23日（祝/土）14：00～16：50

場所：市総合防災センター研修室

参加者：36名

滋賀県立大学：松岡教授（環境科学部環境建築デザイン学科）、
学生6名

立命館大学：及川教授（理工学部建築都市デザイン学科）、
学生9名

◆プログラム

1. 開会
2. 野洲駅南口周辺整備構想の概要説明
3. 本日の進め方
4. 自己紹介・話し合い
5. 閉会

駅前に対する思いとつながり・ 健康づくりに必要なこと

第2回やす駅南口周辺整備構想市民ワークショップ
2月23日（日）14：00～ 市総合防災センター研修室

規模と配置について考えよう



Aグループ



Bグループ



Cグループ



Dグループ



Eグループ

◆ワークショップ開催の目的

- ・市民が主役となって取り組むため
 - ・市民意見を広く聞き取るため
 - ・専門家の知識、経験や学生の発想を取り入れるため
- ⇒市民と専門家、学生による共同作業

◆野洲駅南口周辺整備構想の概要

これまで駅前のにぎわいづくりは、地権者であった民間事業者のノウハウの活用が期待されてきましたが、市民が期待したにぎわいは実現されませんでした。

そして、今、民間事業者から土地を取得した野洲市が、市民が憩えて安心できる拠点整備を目指し、市民主体で検討を進めています。

本年6月まで、計6回にわたり議論された野洲駅南口周辺整備構想検討委員会からの提案を土台とし、「心と体の健康をテーマに人と人がつながることにより生まれるにぎわいづくり」に向け、滋賀県立大学、立命館大学、野洲市がチームとなり、市民の思いと専門家のノウハウを融合させ、駅前のポテンシャルを最大限活かせる提案づくりを行っています。

■話し合い①「駅前に対する思いの共有」

現在の駅前の良いところ、悪いところについて意見を出し合いました。

■出された主な意見

- ・待ち合わせや待ち時間をごすことのできる場所がない
- ・朝夕しか人通りがなく、田舎の駅で駅前が暗いイメージ
- ・商店が少なく、商売関係はうまくいかない印象
- ・野洲市を象徴するものがない
- ・駅前に自然が少ない
- ・交通（バス路線）の要衝であり誰もが来やすい場所となっている
- ・駐車場が非常に多い
- ・バリアフリー整備が不十分



■話し合い②「つながりに必要なこと／健康づくりに必要なこと」

市民広場、交流施設、図書館分室、アリーナ、病院、商業サービスの6つの機能について、イメージカードを利用しながら、どんな駅前が良いのかについて具体的な意見を共有しました。



商業サービス



①



②

朝市など地産地消、名産品のための物産展をすべき

駅前で時間を潰すための本屋、飲食店、カフェ

■出された主な意見

- ・健康で安全な食事ができるレストランが欲しい
- ・散髪屋さんや足湯
- ・コンビニなどちよつとした日用品を売える場所
- ・どこの軒にもあるような商業施設は作らないほうがいい
- ・商業中心ではなく、市民がゆつくりできる憩いの場であってほしい

市民広場

- 出された主な意見 ■
 - 噴水や三上山が見える展望台が欲しい
 - 銅鑼と一緒にアピール
 - 屋根つき広場
 - ベンチを配置し木陰でくつろぐことのできる場所
 - 整備された緑やビオトープのある広場
 - 子どもが喜ぶ広場
 - オープンにいろいろなことが行われる場所
 - 災害時は避難できる広い広場
 - 可動式の遊具のある広場
 - 洪水被害が出ないような水はけのよさも考慮すべき
 - 花が多く四季を感じ、楽しむことのできる広場



- ③
 - 健康につながる緑の空間
 - 全体を公園として、公園の中にいろいろな施設があるイメージ
 - 中心に広場を設置し、周囲に病院や交流施設などを配置
 - 芝生などのんびりできる場所

- ④
 - イベントスペースがあれば若者が呼び込める
 - スポーツもできる多目的な広場のほうがいい



- ⑤
 - 山の中のような自然を整備してはどうか
 - 人工的な自然を子ども達に自然と教えることに抵抗がある
 - 緑が多すぎると危ない
 - 落葉樹は管理が大変で維持費もかかる

図書館分室

- 出された主な意見 ■
 - 支援活動センターの機能を駅前を持つ
 - 午前中は子どもが利用し、昼間は高齢者、夜は通学利用ができる
 - 図書館と一緒に何かを絡める（広場、カフェ、本屋・病院）
 - 自習室の併設



⑥

交流施設

- 出された主な意見 ■
 - 日ごとに絵画、生け花など様々な催しができる施設
 - 展示や発表の場が欲しい
 - 集会室、研修室は必要
 - 子どもを預かってもらえる場所は必要
 - 駅前なら地元以外の人も来てくれる
 - クローズではなくオープンに使える場所が欲しい
 - ニーズに合わせて柔軟に広さを調節できる部屋が欲しい
 - 個人レベルで借りられる部屋が欲しい



⑦



⑧



⑨

病院

- 出された主な意見 ■
 - 駅から直接いける病院
 - 駅前が良い／良くない
 - 交通渋滞が懸念されるため、郊外につくってシャトルバスを出すほうが良い
 - 駅前に病院があると明るさなくなる
- 立地 ■
 - 真ん中に病院があつてそこから枝のように広がるイメージ
 - 駅前につくなら三上山の見える配置が良い
- 配置 ■
 - 予防の情報提供やプライマリーケアなど、健康に関する情報や相談を受けられる場所が必要
 - 病院にぐるの過程を含めて、健康的な活動がほしい
 - 産婦人科限定、人間ドック専門など、限定的な分野を發展させ気軽に検診を受けられる病院にするべき
 - 気軽に話ができる、市民広場と病院と交流施設が一体となったものがほしい
- 機能 ■



⑪



⑫



⑬

アリーナ

- 出された主な意見 ■
 - ジム、プールは欲しい
 - 小さな施設でよいが、駅に帰ってきて1時間でも汗を流せるところが良い
 - 総合体育館があるためアリーナというよりは多目的ドームくらいの規模で十分
 - 駅隣接にするならば市外からも利用者が増えるようなアリーナを目指すべき
 - 大きなイベント時は利用者が多いため渋滞が懸念される



⑭

その他

- 出された主な意見 ■
 - 健康になるための場所としての発信が必要
 - 野洲駅を高架にし、南北の行き来を良くする
 - 環境に配慮した持続可能なものにするべき
 - ハード面よりソフト面、中身にお金を使ってほしい
 - 野洲市や駅前の情報を提供するインフォメーションセンターが中心に必要
 - イベントや市民団体の活動などをすべて把握して、団体と団体を引き合わせる役割も持つ
 - インフォメーションセンターにいるのは全体をマネジメントする統括者
 - 核となる人物を市民の中から選び各施設に配置。そして社会的な面だけでなくソフト面で運営していく人が必要
 - 自然発生的に何かが起こるような仕掛けを作るのがインフォメーションセンターの役割

写真出典

- ① 野田村観光協会 HP
- ② The Med Journal LONDON
- ③ アーバン・ガーデン・ウォッチング
- ④ うっちのblog
- ⑤ スマイルガーデン@十勝
- ⑥ 信州 I・U-turntourist information
- ⑦ 社団法人日本カルチャーセンター協会
- ⑧ 栗川町HP
- ⑨ 茨城県霞ヶ浦環境科学センター
- ⑩ 鳥取県福祉保健部 HP
- ⑪ tetsuのブログ
- ⑫ 札幌通信病院 HP
- ⑬ かごしま んだもしタウン
- ⑭ 長野市HP

第2回やす駅南口周辺整備構想 市民ワークショップニュース



第2回やす駅南口周辺整備構想市民ワークショップ

日時：2月23日（日）14：00～16：30

場所：市総合防災センター研修室

参加者：30名

滋賀県立大学：松岡教授（環境科学部環境建築デザイン学科）、
学生4名

立命館大学：及川教授（理工学部建築都市デザイン学科）、
学生6名

◆プログラム

1. 開会
2. ワークショップの概要
3. 野洲駅南口周辺整備構想の検討（前提条件など）
4. グループワーク
5. 閉会

規模と配置についてイメージ を具体化

第3回やす駅南口周辺整備構想市民ワークショップ
4月27日（日）14：00～ 市総合防災センター研修室

全体イメージ（素案）について



Aグループ



Bグループ



Cグループ



Dグループ

◆ワークショップ開催の目的

- ・市民が主役となって取り組むため
 - ・市民意見を広く聞き取るため
 - ・専門家の知識、経験や学生の発想を取り入れるため
- ⇒市民と専門家、学生による共同作業

◆野洲駅南口周辺整備構想の検討

これまでの検討を踏まえ、「心と体の健康」をテーマに「人と人とのつながることのできるにぎわい」づくりの実現を目指します。市立病院を配置するとともに、健康センターを含む交流施設を配置することによって区域全体で市民の健康づくりに取り組み、現在、人通りの少ない駅前において人が集まる仕掛けを進めます。

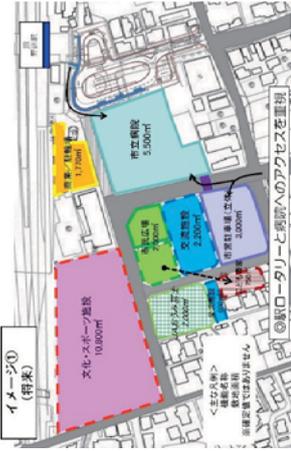
対象とする区域には、文化ホール等の既存施設があることから、各々の施設の制約条件等を勘案し、第1段階として5～10年後、第2段階として10～20年後を想定します。

また、おうみ富士農業協同組合は野洲駅南口周辺整備構想に参画することを確認していることから、区域内における具体的な移転先について協議を進めます。

■グループワークの進め方

二つのイメージを基本として、各グループで模型を組み立て、規模と配置のイメージをします。つくった模型に対して肯定的な意見と否定的な意見を整理します。各班ごとの意見をまとめ、模型とともに発表し、参加者同士の情報共有を図ります。

■イメージ1



■イメージ2



2月19日開催の（仮称）野洲市立病院整備基本構想検討委員会からの提言を踏まえ、駅ロータリーに隣接して市立病院を配置したパターン。駅ロータリーと病院へのアクセスを重視しています。

現在、JAおうみ富士がある区画に市立病院を配置したパターン。駅前の空間確保と病院の接道を重視しています。

<参考>（仮称）野洲市立病院整備基本構想検討委員会からの提言（立地に関して抜粋）

・病院配置については医療サービスの利用と提供の観点からA候補地が望ましい

・全体構想を検討している共同研究に、病院立地に関して配慮すべき点や注意事項などをまとめ、検討を委ねる

○配座すべき点等

○既存の公共交通機関との連携、接続

○施設と駐車場の接続

○市域全体から見たアクセス

■グループワークの流れ



①ワークショップの位置づけ、検討の前提条件などを確認



②模型で配置・ボリュームを具体化し、イメージを共有



③作成した模型について意見を申し合



④グループごとに発表し、意見を共有

■ グループワーク 結果 (A グループ)

イメージ①



病院
商業施設
立体駐車場
市民広場

- ・現駐車場、交番等の敷地に病院の一部を配置し、ロータリーとつながる通路を扶むように、病院の低層（2層分）に商業施設を配置。その上に病院を設け、屋上緑化する
- ・病棟は線路側に線路と平行に配置
- ・病院へのアクセスが三上山の眺望よりも重要
- ・病院の南側に駐車場を配置し、屋上緑化
- ・現在、J Aおうみ富士がある区画に、階段状の建物を配置し、屋上の広場へのアクセスを向上。北側のマーンションを考慮し、北側ほど低層化



イメージ②



商業施設
市民広場
病院
立体駐車場

- ・駅ロータリーと接して饗沢にオープンスペースをとり、低層の商業施設や交流施設を配置する
- ・現在、J Aおうみ富士がある区画の北側に病院を、その南側に立体駐車場を配置。既存マーンションを考慮し、病棟は南北方向に配置。低層部の屋上は緑化
- ・現駐車場、交番等の敷地は、駅に最も近い場所であるので、収益が上がるようなオフィスやホテル等を配置。隣のマーンション程度の高さでも良い



■ グループワーク 結果 (B グループ)

イメージ①



商業施設
病院
立体駐車場
市民広場

- ・三上山が見えるように病棟は線路側に配置する
- ・市の玄関口であるので、病院より交流の場が適しているのではないかと
- ・駅前を自然のある空間とするため、病院を階段状に積層するなどして、市民広場と連続した緑の軸や緑の面を整備
- ・地面の高さから三上山を眺望できることに意味がある。建物の隙間からではなく、一面を眺望できる高さにする必要がある
- ・市民広場に面して、カフェや図書館分室などにぎわいのある空間を併設
- ・交流施設に野洲出身の偉人を学べる空間を入れる
- ・文化スポーツ施設においても緑地帯をつくる



イメージ②



商業施設
市民広場
病院
立体駐車場

- ・病院へ直接出入りできるように立体駐車場を配置
- ・病院の低層部に屋上テラスを配置し、市民広場や交流施設とつなげる
- ・災害時に病院と運動して広場が防災拠点となるように配置
- ・屋上緑化よりも地上面で緑地帯を配置
- ・建物を北側に建て、市民広場を明るくする
- ・交流施設に野洲出身の偉人を学べる空間を入れる
- ・展示場などの多目的に利用できる空間を入れる
- ・文化スポーツ施設においても緑地帯をつくる



■ グループワーク 結果 (Cグループ)

イメージ①



商業施設
駅と病院や交流施設の屋上をブリッジで接続



- すべての機能を低層（2、3階）にまとめ、屋上をつなぎ全体を緑化し広場とする
- 配置についてはこだわらないが、駅から屋上広場にアクセスできる回廊をつくる
- 高層化しないことで三上山の眺望が確保でき、緑の面積も多く取れる
- 徹底した屋上緑化の必要はない
- 地表の緑化と屋上の緑化は質が違うのでは。根が張り木が育つ方が長い
- 広場を地上から上げることになるので、周辺住民にとっては良くない

イメージ②



商業施設
市民広場
病院+立体駐車場(高層化)



- 駅前にとりを持たせるために大きな広場をつくる
- 駅利用者を利用しやすいように、カフェなどを現駐輪場、交番等敷地に配置する
- 広場面積を広く取るために、病院と駐車場はまとめて高層化する
- 病院を駅ロータリーから離して配置しても歩く距離は長くないので、心配ない
- 高層ビルとしてもマンションが高いので目立ちすぎない
- 小学校近くには商業施設を配置したくない
- 現状、駅から三上山は見えないので三上山の眺望スポットを設ける
- 駅前を広場にするとも夜間は暗くなる。街灯では対応しきれない
- 敷地を囲むように緑地を配置すれば、緑地に囲まれた雰囲気となる

■ グループワーク 結果 (Dグループ)

イメージ①



駅側に交流施設やカフェ
駅と病院、立体駐車場をブリッジで接続する



- 駅から三上山が見えるように施設を配置
- 現状、三上山はきれいに見えないので、建物の中に眺望できる公共の場があればよい
- 駅側に交流施設やカフェを配置し、駅利用者の憩いの場所とする
- 病院と野洲駅、病院と立体駐車場は回廊でつなぐ
- 全体を回廊でつなぐと1階が寂れてしまう
- 立体駐車場は800台以上の取用が必要

イメージ②



市民広場
交流施設と商業施設の複合化
三上山が見えるように病棟を南西側に寄せる



- 各施設はコンパクトにまとめ、駅前の広場を大きく取る
- 病院の低層部に駐車場を設ける
- 交流施設に商業施設を複合化する
- 三上山の眺望を確保するために、病棟を南西側へ寄せる
- 文化スポーツ施設に立体駐車場を併設する

第3回やす駅南口周辺整備構想 市民ワークショップニュース



第3回やす駅南口周辺整備構想市民ワークショップ

日時：4月27日（日）14：00～16：30
場所：市総合防災センター研修室
参加者：29名
滋賀県立大学：松岡教授（環境科学部環境建築デザイン学科）、
学生6名

立命館大学：及川教授（理工学部建築都市デザイン学科）、
梶見講師（理工学部環境システム工学科）、
学生6名

◆プログラム

1. 開会
2. 駅前整備の流れの確認、病院配置の絞り込み
3. 野洲駅南口周辺整備構想の検討（全体イメージ案）
4. グループワーク
5. 閉会

市民広場を中心にした2つの素案を提示

野洲駅南口周辺整備構想提案発表会

“つながり”と“にぎわい”のまちづくり

6月21日（土）14：00～ 野洲文化小劇場

※第3回ワークショップでお知らせした会場から変更しています。



Aグループ



Cグループ



Bグループ



Dグループ

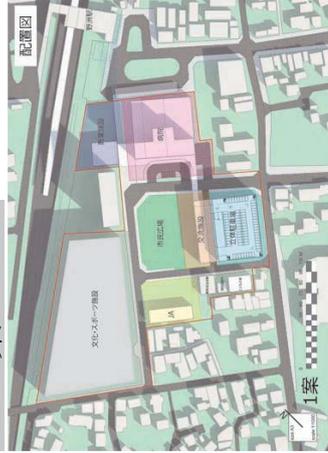
■ グループワークの進め方

市民広場を中心に各機能の連携をイメージした2つの素案について、各グループで良い点・配慮すべき点を話し合います。着眼点は動線や利便性、景観や市民広場の使い方等です。

各グループの意見をまとめ、発表により、参加者同士の情報共有を図ります。

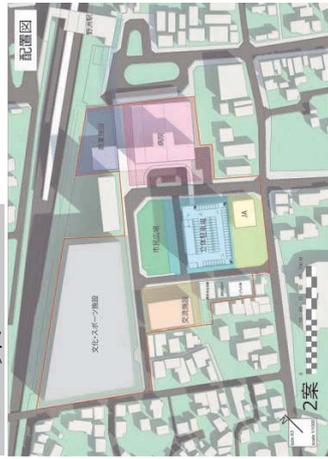
なお、この2つの素案は、共同研究による提案イメージであり、面積・形状等は確定したものではありません。
(IAおうみ富士の配置含む)

■ 1案



市民広場を中心に、病院や交流施設等を配置したパターン。JAおうみ富士の配置は、現文化ホール等駐車場を想定。

■ 2案



市民広場を中心に、病院や立体駐車場等を配置したパターン。JAおうみ富士の配置は、現位置を90度回転させた位置を想定。

■ グループワークの流れ



①駅前整備計画、ワークショップの位置づけの確認



②二つの素案を比較し、良い点・配慮すべき点を話し合う



③意見を整理し、改善点を話し合う



④グループごとに発表し、意見を共有

■ グループワーク 結果 (A グループ)

1案



< 1案 >

- ・JAおのみ富士と市民広場のつながりが生まれる
- ・広場の使い方の可能性が広がる



2案



< 2案 >

- ・広場が狭い
- ・広場が立体駐車場に面しているため、圧迫感がある



< 共通意見 >

- ・駅前に野洲とわかる象徴的なものが必要
 - 学生の活動発表の場、三上山の見える景色など
- ・広場は防災活動にも活用できる場所にすべき
 - 木や遊具を配置する場所を考慮し防災空間を確保
- ・広場における緑の管理等、維持管理が重要
- ・立体駐車場は本当に500台も必要なのか
 - 駅があるので環境問題や将来を見越して台数を減らす、あるいは分散してどうか
 - 現野洲文化ホールイベント利用を考えると、500台では足りないのではないか
- ・文化スポーツ施設の収容数によっては、駐車場がさらに必要になるのでは
 - 将来、敷地内で整備するスペースはある

■ グループワーク 結果 (B グループ)

1案



< 1案 >

- ・JAおのみ富士の前に広場があるため、ふれあいの空間が広い
- ・JAおのみ富士と交流施設が入れ替わっても良い



2案



< 2案 >

- ・立体駐車場で分断されているため、JAおのみ富士が孤立化するのは



< 共通意見 >

- ・病棟から広場が一望できるのは良い
- ・自然豊かな野洲の駅前の顔が病院であることに疑問
- ・入院患者が気兼ねなく使える屋上庭園もよいのでは
- ・病院前のバス停側にカフェなどの商業施設があると駅前が賑わうのでは
- ・市民広場に健康歩道が欲しい
- ・交流施設と商業施設を複合化させる
- ・広場を拡大させる
- ・交流施設には調理室、大会議室、憩いのスペースが必要
- ・立体駐車場の整備は工夫が必要
 - 立体駐車場を病院分の300台に抑え残りは敷地周辺に分散、一部を地下駐車場にしてはどうか
 - ・高齢者の使いやすい立体駐車場にして欲しい
 - 車椅子利用者が多くなくと予想されるため、エレベーターは設置すべき
 - ・立体駐車場の高さを利用し、屋上に眺望台があると良いのでは
 - ・コミュニティバスの本数を増加すべき

■ グループワーク 結果 (Cグループ)

1案



< 1案 >

- ・ JAおうみ富士と交流施設が入れ替わっても良い
- ・ 広場を大きくとくことが、将来の財産になる



2案



< 2案 >

- ・ 広場が狭いため、アクティビティよりも緑豊かな公園にすべき
- ・ 立体駐車場を利用する車が広場を横断すべきでない
- ・ 立体駐車場により、JAおうみ富士が孤立



< 共通意見 >

- ・ フリーマーケットを開催するなど、市民広場を多目的に使用したい
- ・ 市民広場を囲う道路は、広場と一体化するよう舗装の色などで工夫すべき
- ・ 病院の利用者も、一般の人々も利用しやすい広場に
- ・ 広場が病院や周辺の施設と関わりをもったほうが良いのでは
 - 産直市や吹き出しなどを行い、農とまちをつなげるイメージづくり
- ・ 広場に面する病院と立体駐車場は、病院らしくない、立体駐車場らしくない外観に工夫が必要
- ・ 緑化を行うなど景観も大切だが、コストを抑えたシンプルな建物にすることで、他のことにお金を使う選択もあるのでは

■ グループワーク 結果 (Dグループ)

1案



< 1案 >

- ・ 広場が広いので、広さを持って余さない工夫が必要
- ・ 病院と交流施設の場所を入れ替えた方がよい



2案



< 2案 >

- ・ 施設を詰め込みすぎているように感じられる



< 共通意見 >

- ・ 駅と病院の間に小さな公園があってもよいのではないかと
 - 広場を分散させて、小さい広場を増やす選択肢もある
- ・ 病院の階層を増やし、敷地面積を減らし、駅前から少し遠ざけるべき
 - 駅前の圧迫感が軽減されるのでは
- ・ JAおうみ富士前で地産地消の市場が開催されると良い
 - JAおうみ富士の協力を得られるならば、運営管理の確立されたカルチャーセンターを開けるのでは
- ・ 市民広場に遊びごころなどの工夫が必要
 - 立ち寄る若者が増える可能性あり
- ・ 病院前の広場として、利用についての検討が必要
- ・ 商業施設の上に交流施設を移動させるべき
 - 立体駐車場の敷地面積が増え、高さを抑えることができるため、圧迫感の軽減につながる
- ・ 駅付近に、学校や仕事帰りに気軽に立ち寄れる場が必要
 - 一体の健康、心の健康につながるのでは

提案発表会結果

野洲駅南口周辺整備構想 提案発表会ニュース

野洲駅南口周辺整備構想提案発表会

「つながり」と「にぎわい」のまちづくり

日時：6月21日(土) 14:00～16:00

場所：野洲文化小劇場

参加者：48名

滋賀県立大学：松岡教授（環境科学部環境建築デザイン学科）、学生5名

立命館大学：及川教授（理工学部建築都市デザイン学科）、

塩見講師（理工学部環境システム工学科）、

学生7名

◆プログラム

1. 開会
2. 提案説明
 - ・共同研究に至るまでの経緯 / 共同研究の内容
 - ・全体イメージ（機能配置と動線）
 - ・調査分析（交通影響、マーケティング）
 - ・広場と連携した施設の事例
 - ・構想策定に向けた事業調整
3. フリータイム
4. まとめ

「心と体の健康をテーマに、

人と人とながらることで生まれるにぎわいづくり」



模型

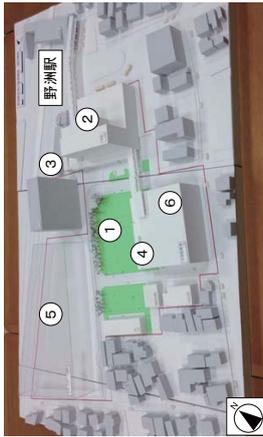


各機能が取り囲む市民広場の賑わいのイメージ

※共同研究による提案イメージであり、面積・形状等は確定したものではありません（J Aの配置については、確定したものではありません）

機能の規模と配置

機能	敷地面積	階層	利用の具体例
① 市民広場	2,300㎡ (隣接する交流/商業施設Bの敷地との一体活用) ※広場として活用可能な面積：約3,500㎡	—	市民が自由に利用できる場、緑を感じられる空間、子どもの遊び場、フリーマーケット、青空市等
② 病院	5,500㎡	9階	指定病床数：199床 ※中核的医療拠点として、一定の役割を担う病院
③ 交流/商業施設A (駅舎側)	2,000㎡	2階	店舗(飲食店、直売所等)、情報発信拠点(企業、市民活動、学生、市)等
④ 交流/商業施設B (市民広場側)	5,000㎡	5階	コメン(研修室、調理室、多目的室等)、健康センター(健診室、健康相談等)、図書館分室、店舗等
⑤ 文化スポーツ施設	11,000㎡	—	アリーナ、ホール、トレーニング室等 ※既存施設の集約を前提
⑥ 立体駐車場	5,000㎡	7階	想定収容台数：約500台(フラット式) ※周辺施設の共用駐車場



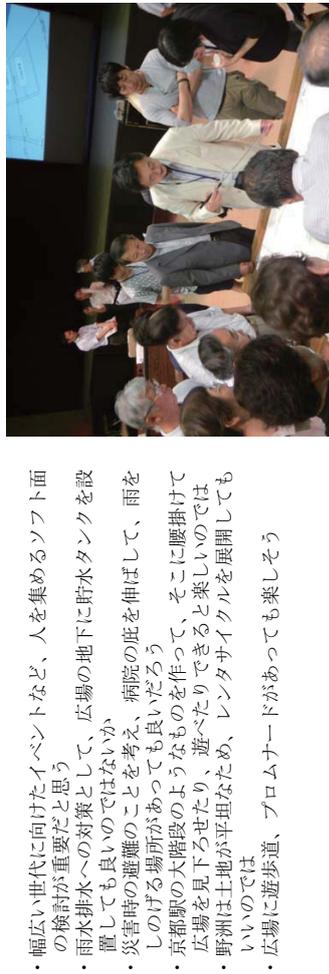
※共同研究による提案イメージであり、面積・形状等は確定したものではありません
(J Aの配置についても、確定したものではありません)

■参加者の声①



- ・市民広場は、場所が広く取れ、活気のある楽しいイメージができた
- ・近隣にも引けをとらない活発なまちになるよう期待している
- ・病院の立地は、駅に近く、すごく良いと思う
- ・広場との連携や交流施設など、模型などを使って分かりやすく具体化されたため、良いイメージができた
- ・子供のためにいい広場にしたい
- ・南口だけでなく、北口も一緒に計画して欲しい
- ・今後、高齢化が更に進むので、それを見越して構想をしっかり進めて欲しい
- ・広場に遊び心を取り入れたいベンチなどを設置して欲しい

■参加者の声②



- ・幅広い世代に向けたイベントなど、人を集めるソフト面の検討が重要だと思う
- ・雨水排水への対策として、広場の地下に貯水タンクを設置しても良いのではないかと
- ・災害時の避難のことも考え、病院の庇を伸ばして、雨をしのげる場所があったのも良いだろう
- ・京都駅の大階段のようなものを作って、そこに腰掛けて広場を見下ろせたり、遊べたりできると楽しいのでは
- ・野洲は土地が平坦なため、レンタサイクルを展開してもいいのでは
- ・広場に遊歩道、プログラムなどがあっても楽しそう

■構想策定に向けた事業調整

この提案は、約20年後を将来像に見据え、段階的に整備していくものです。これを実現性・持続性のあるものとしていくため、市では地権者との協議や資金計画、事業スケジュールといった事業調整を行い、平成26年12月を目処に「野洲駅南口周辺整備構想」としてまとめる予定です。

市民懇談会結果

立体駐車場の収容台数の考え方

立体駐車場の収容台数の考え方

《現状》

文化ホール、文化小劇場、コミセンやす

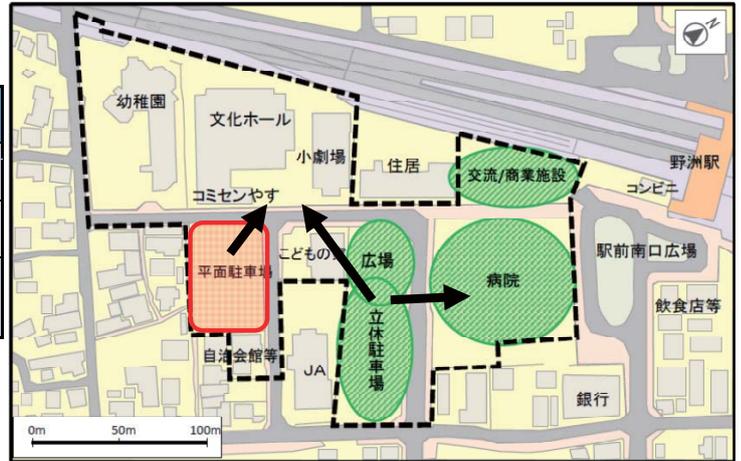
- ・共用平面駐車場 99台+30台
- ・暫定平面駐車場 77台+市役所駐車場(休日等のイベント時に臨時活用)

《前期(5~6年後)のイメージ》

立体駐車場の収容台数(想定)

	対象区域内	対象区域外
病院利用者	立体:約150台	—
病院職員	—	約160台
文化ホール等	平面:99台 立体:約100台	—

※病院への緊急や搬入用駐車場は、別途、病院敷地内に確保
 ※病院利用者及び職員に係る収容台数は、第1回(仮称)野洲市立病院整備基本計画評価委員会時点における想定です。



●主な考え方

- ✓ 病院利用者用としては、病院に隣接する立体駐車場に収容可能
- ✓ 文化ホール等施設利用者用として、現状と同等の収容台数を確保
- ✓ 休日等の文化ホールイベント時には、今と同様に市役所駐車場を臨時活用
- ✓ 鉄道利用者の駐車については、料金設定の方法等により抑制を検討
- ✓ 交流/商業施設利用者用に関しては、駐車可能台数を考慮して、規模を設定

段階的な整備について

構想(案)では、既存施設の耐用年数を考慮して段階的な整備を行うとしている。

●文化・スポーツ施設の考え方

- ✓ 文化・スポーツ施設は、既存ホール等のあり方を検討したうえで、規模等を設定する必要がある。
 - ・総合体育館は、国体(H36)に向け、大規模改修が必要であること等を考慮



- ✓ 文化・スポーツ施設の集客規模に応じて、敷地内に一定規模の駐車機能は必要
 ⇒仮に現施設と同等規模とした場合、施設敷地内に最低100台程度の駐車場確保が必要
 (現在と同様に、イベント時には市役所駐車場等を臨時活用するとした場合)

《後期(約20年後)のイメージ》

